

げ すい どう やく わり

下水道の役割

ねたし

せい かつ かんきょう

① 私たちの生活環境をよりよくすること。

私たちの家庭や、工場などから出たよごれた水が、住宅のまわりにたまっていると、いやなにおいがしたり、ハエやカブトムシなどが発生したり、伝染病の原因にもなります。下水道ができれば、そのようなことがなくなり、快適で衛生的な生活ができるようになります。

② くみ取り式トイレを水洗トイレにかえること。

私たちのすまいでの、し尿(大便や小便)をくみ取り式トイレにためておくことは、衛生的ではなく、また、においがする原因となります。

これらの問題を一度に解決するのが下水道なのです。下水道を整備し、トイレを水洗式にすることによって、し尿は下水管の中をほかのよごれた水といっしょに運ばれ、下水処理場できれいにされます。

③ 雨水が低いところにたまらないようにすること。

日本のように雨が多く降る国では、いつも水害の危険にさらされています。とくに、街が発達してくると、緑地や空き地が減り、雨水が地面にしみこみにくくなってしまって、低いところにたまりやすくなります。下水道は、このような水害からくらしを守るために、台風や大雨のときでも雨水がたまらないようにする役割をもっています。

④ 川や湖や海をきれいにすること。

よごれた水が、そのまま流れていくと、川や湖や海の水がどんどんきたなくなってしまい、魚がすめなくなったりします。下水道は、よごれた水を下水管に集めて運び、下水処理場できれいにすることで、川などの水をきれいにすることに、たいへん役立っています。

下水道のよいところって、たくさんあるんだね！

